

2. 火山の概況

(平成 16 年 10 月 28 日 ~ 平成 16 年 11 月 3 日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

浅間山ではごく小規模な噴火があった。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は3。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いている。レベルは2。

霧島山の御鉢の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

薩摩硫黄島では一時微動がやや多く発生した。

諏訪之瀬島では噴火があった。

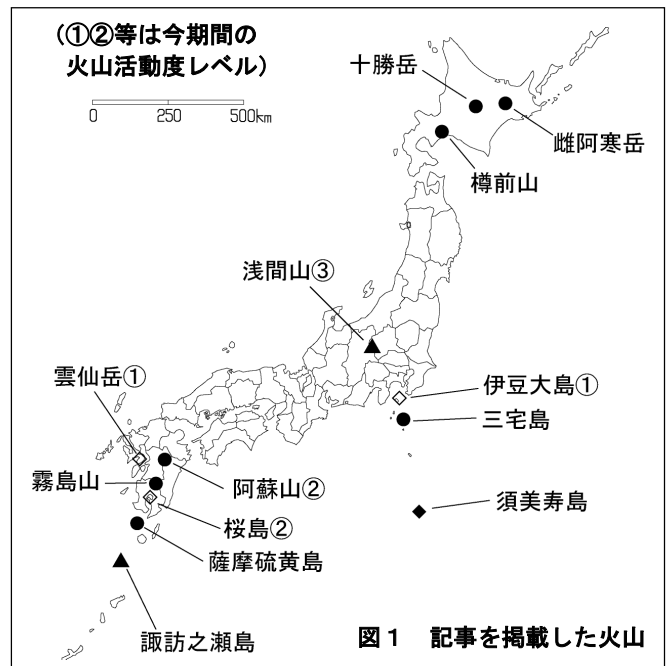


図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島	雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	三宅島	須美寿島	伊豆鳥島	西之島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島	
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号													
45	10/28-11/3	③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	◇				●	●	▲
44	10/21-10/27	③	●	①	◆	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●					●	▲	▲
43	10/14-10/20	③	▲	①	●	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●						●		
42	10/7-10/13	③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●		●	●	●		●	◆	◆
41	9/30-10/6	③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●						●	▲	▲

注1 記号の意味

- ▲：噴火した火山
- ：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● 雌阿寒岳 [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口は、噴煙の状況に変化はなく、今期間も高温の状態が続いていたと推定される。

● 十勝岳 [噴煙・熱]

62-2 火口は噴煙活動の活発な状態が続いており、噴煙の状況に変化はなく、今期間も高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 200m で推移した。

● 樽前山 [熱]

A 火口及びB 噴気孔群は、噴煙の状況に変化はなく、今期間も高温の状態が続いていたと推定される。

▲ 浅間山 [噴火・噴煙・火山ガス・地震・微動] レベル3 (山頂火口で小～中噴火の可能性)

10月28日04時24分頃にごく小規模な噴火が発生し、灰白色の噴煙が火口縁上400mまで上がり、南東に流れるのが観測された¹⁾。この噴火に伴うとみられる微量の降灰が軽井沢町で確認された。

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、最高で火口縁上500mまで上がった。期間中、火映

は観測されなかった。

10月28日午前中に上空から実施した火口内の観測²⁾では、火口底の低下及び火口内最高温度の低下がみられた（詳細は前44号参照）。また、10月28日に行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり2,000～3,000トンで、依然として多い状態であった。

振幅の小さい火山性地震の発生回数は1日あたり71～138回、火山性微動の発生回数は3～9回で、引き続きやや多い状態であった。

1) 国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所が山麓に設置した高感度カメラによる。

2) 長野県の協力により気象庁と東京大学地震研究所が実施。

◇ 伊豆大島 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

● 三宅島 [噴煙・熱・火山ガス・地震]

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、最高で火口縁上500mまで上がった。

11月2日に上空から行った観測³⁾では、白色の噴煙が連続的に噴出し、火口縁上200mまで上がっていた。また、二酸化硫黄を含む青白色ガスが東側に流下していた。赤外カメラによる観測では、火口内の最高温度は189℃であった（前回10月14日は164℃）。火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は日量2,200～2,900トンで依然として多い状態であった。火口内の地形等には特段の変化はみられなかった。

振幅の小さいやや低周波の地震は1日あたり5～36回観測された。

3) 警視庁の協力により気象庁が実施。

◆ 須美寿島

海上保安庁によると、25日（期間外）に確認された須美寿島周辺海域における変色水は、土砂の流出によるものであることが判明した。

● 阿蘇山 [熱・噴湯現象・微動] レベル2（やや活発な火山活動）

28日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰緑色、量は約8割で前期間と変化なく、表面温度の最高は67℃（前期間は68℃）で、火口壁の最高温度は161℃と依然高温であった（前期間は169℃）。湯だまりの中央、西及び南西側で弱い噴湯現象があった。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上500m（前期間200m）であった。

孤立型微動の発生回数は429回であった（前期間は423回）。地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ 雲仙岳 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気]

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。28日に時々噴気が監視カメラで観測され、その最高は火口縁上100mであった。

◇ 桜島 レベル2（比較的静穏な噴火活動）

期間中、噴火は発生しなかった（前期間もなし）。噴煙活動も低調で、鹿児島地方気象台（南岳の西南西約11km）で降灰は観測されなかった（前期間もなし）。

● 薩摩硫黄島 [微動]

28日に継続時間の短い火山性微動がやや多く発生した。

▲ 諏訪之瀬島 [噴火・微動]

28日に噴火が発生し、09時00分に灰白色の噴煙が高さ火口縁上400mまで上がって西に流れるのが監視カメラで観測された。また、28日に連続的な火山性微動が発生した。期間中、集落（御岳の南南西約4km）で降灰はなかった。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第122号	28日10:30	27日15時～28日09時の活動状況(04時24分にごく小規模な噴火発生)。レベルは3。
	火山観測情報第123号	28日16:00	28日00時～15時の活動状況(09時以降噴火はなし)。上空からの火口観測結果。レベルは3。
	火山観測情報第124号	29日10:00	28日15時～29日09時の活動状況(噴火はなし、地震回数やや多い)。レベルは3。
	火山観測情報第125号	29日16:00	29日00時～15時の活動状況(噴火はなし)。28日実施の二酸化硫黄放出量観測結果。30日以降、情報の定時発表を1日1回(16時)に変更。レベルは3。
	火山観測情報第126号	30日16:00	前日及び当日00時～15時の活動状況(噴火はなし、地震やや多い)。レベルは3。
	火山観測情報第127号	31日16:00	前日及び当日00時～15時の活動状況(噴火はなし、微動やや多い)。レベルは3。
	火山観測情報第128号	1日16:00	
	火山観測情報第129号	2日16:00	前日及び当日00時～15時の活動状況(噴火はなし)。レベルは3。
火山観測情報第130号	3日16:00	前日及び当日00時～15時の活動状況(噴火はなし、微動やや多い)。レベルは3。	
三宅島	火山観測情報第602号	28日09:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
	↓(1日2回発表) 火山観測情報第615号	↓ 3日16:30	
阿蘇山	火山観測情報第52号	29日11:00	火山活動は引き続きやや活発(湯だまりの高温状態継続、噴湯現象あり)。レベルは2。